



高知・室戸くじら班(県直属)

改ざん、戦争賛美の教科書を子どもたちに手

渡させないために、学習や教育委員会への働きかけをつよ

が直面する課題を、当事者同士で語り合う力

ていきます。地方議会でも国会でも各政党・議員が、新婦

大いにおしゃべりしましょう。党派別選挙は

基本的に、状況に応じて判断します。

めるよう、誘いたい人を出し合うことを大事にし

きます。各都道府県本部、支部でも悩みを出し合

立てを相談しましょう。どの支部も次世代をはじめ、新しい人を委員

○子どもの学び育つ権利を守るため、公立

○排外主義、デマやヘイトを許さず、憲法が保障する権利を守り、実

させましょう。巡回など投票権を保障

○委員会は、日常的に班の実情をつかみ、班の

○女性の政治参加を阻み、多様な民意を切り捨てる衆議院の比例定

○第33回全国大会を32大会時の会員数を超えて

○「配達・集金ありがとる班会」「配達集金体

○どの支部も次世代をはじめ、新しい人を委員会に複数で迎え、次世

○不登校や教員不足など教育

○国政選挙、地方議員選挙では「これからのエ

○国政選挙、地方議員選挙では「これからのエ

○委員会は、日常的に班の実情をつかみ、班の

○女性の政治参加を阻み、多様な民意を切り捨てる衆議院の比例定

○第33回全国大会を32大会時の会員数を超えて

○「配達・集金ありがとる班会」「配達集金体

○どの支部も次世代をはじめ、新しい人を委員会に複数で迎え、次世

○子どもを育つ権利を守るため、公立

○排外主義、デマやヘイトを許さず、憲法が保障する権利を守り、実

させましょう。巡回など投票権を保障

○委員会は、日常的に班の実情をつかみ、班の

○女性の政治参加を阻み、多様な民意を切り捨てる衆議院の比例定

○第33回全国大会を32大会時の会員数を超えて

○「配達・集金ありがとる班会」「配達集金体

○どの支部も次世代をはじめ、新しい人を委員会に複数で迎え、次世

特別決議

高市早苗首相とトランプ米大統領による初の日米首脳会談(10月28日)は、アメリカの要求を丸のみし、途方もない大軍拡につきすすむ自民維新政権の危険な姿勢を示しました。

ほどの追随ぶりです。さらに、ガザでのジェノサイドを続けるイスラエルを支援し、イランの核施設への先制攻撃までおこなったトランプ氏を「ノーベル平和賞に推薦したい」と述べました。10月30日にトランプ大統領が国防総省に核実験の即時再開を指示し、被爆者をはじめきび

う外交では、国際社会の信頼を失います。また、大軍拡の財源確保のために暮らしか教育、社会保障の予算を削減し、大増税をねらっています。すでに所信表明で、病床削減やOTC類似薬の保険外化など社会保障削減の具体的な方向を打ち出しており、国民のいのちも暮らしも押しつぶす、最悪の政権です。

アメリカ言いなりの高市自維政権 大軍拡と暮らし破壊は許しません

戦争か平和かの 重大な岐路に立っています。日本は戦争放棄の憲法9

3・5%、21兆円規模に引き上げるよう求めるトランプ政権に対し、高市首相はGDP比2%、11兆円規模に増やす目標を2年前倒しして今年度中に達成し、以後さらに引き上げること表明しました。

しい批判の声が広がるなかでも、「コメントを差し控える」として批判も抗議もしていません。

速させる高市自維政権を、続けさせてはなりません。女性・市民の連帯と共同を広げ、希望が持てる新しい政治への道を拓いていきましょう。

2025年11月3日

アメリカとの関税交渉で合意した80兆円の対米投資やアメリカ製武器購入、アメリカ産米の大幅な輸入拡大についても、「誠実かつ速やかな実施」を伝えるなど、あきれる

軍拡を推し進めることは、軍事的緊張を高めるだけです。国連も国際ルールも無視した横暴なふるまいで分断や対立をあおるトランプ氏に付き従

新日本婦人の会 第32回全国大会

〈生きいき大きな班へー5つのポイント〉

- ①班会一会員みんなに知らせて毎月開催、誕生会や歓迎会など工夫して
②要求一おしゃべり・つぶやき・願いを運動や〇〇カフェ、要求別小組に。平和の活動を大切に
③新婦人しんぶんーしんぶんタイムで読んで、紙面で増やして、みんなで配達・集金
④仲間づくりーいつも運動やつながりで、チラシやSNSで知らせ、目標もって。意識して若い世代を
⑤班運営ーみんなで役割分担、班委員会で相談、班ニュースの発行、オンライン活用も

仲間づくりの6つのアクション

- (1)しんぶんタイムを、班会でも要求別小組(サークル)でもゲストを気軽に誘ってとりくみ、入会をすすめてみましょう。読者を会員に迎えます。
(2)「要求ある人とともに」をいつも大切に、宣伝行動で署名してくれた人、要求運動でつながった人に、「新婦人に入って一緒に」と声をかけましょう。
(3)働く次世代や20~40代のあらゆる結びつきを出し合い、各地や全国の次世代ミニ交流にも誘って、入会をすすめてみましょう。
(4)いまあるどの小組でも、会員を新たに迎えます。やりたいことで新小組をつくって、また原爆展などをプラスした体験会にゲストを誘って入会を訴えましょう。
(5)チラシやSNSで発信を強めて、まだ出会っていない多くの女性に新婦人を知らせ、「あなたも一緒に」と会員に迎えます。
(6)仲間をふやす目標をもち、達成に向け、みんなで相談しましょう。

7、新婦人しんぶんを月3回発行に

新婦人しんぶんは、2026年1月から毎月第1週目と第2週目を合併号とすることを基本に、月3回(第2週、3週、4週)発行となります。

この措置は、紙代や印刷、輸送費をはじめとした諸物価高騰に対応するとともに、新婦人しんぶんの発行と配達・集金活動、紙面活用を持続可能なものにしていくためです。新婦人しんぶん代を含む、しんぶん代費900円(しんぶんDF)、SNS、「はとら

もひきつづき月額410円、第3種郵便物の取り

6、会を支える財政を大切に

に、会員一人ひとりの自主性を大切に、さまざまな要求運動を草の根に広げながら、創意あるカンパ活動をすすめます。被災者向けの救援募金、新婦人内で活用する救援基金に引き続きとりくみます。カンパは用途を明らかにし、会員一人ひとりの自主性を大切に、さまざまな要求運動を草の根に広げながら、創意あるカンパ活動をすすめます。被災者向けの救援募金、新婦人内で活用する救援基金に引き続きとりくみます。